

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。  
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 26 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務  
調査船等を活用した学習支援活動 第 17 回



◇平成 26 年 9 月 26 日（金） 10:30～11:30

◇参加者 若葉幼稚園

園児 21 名 職員 4 名 計 25 名

【学習コース】 弁天丸江別コース（江別河川防災ステーション→新石狩大橋往復）

【学 習 行 程】

時 刻	学 習 内 容	
	1 班	2 班
10:30～11:00	弁天丸乗船	江別河川防災ステーション見学
11:00～11:30	江別河川防災ステーション見学	弁天丸乗船

【学習内容】

◇弁天丸

1. 船上から石狩川の大きさを体感
2. 川や鳥、植物などの自然を観察  
（ショウドウツバメの巣観察）
3. カードを使って川のクイズ

◇江別河川防災ステーション

1. 展示物の見学

【実施状況写真】



弁天丸の大きさに驚く園児



ライフジャケットも  
上手に着ました



注意事項をしっかり聞きます



鳥や魚のクイズに興味津々



カードでどちらが正解か答えます



デッキで記念撮影